

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 弾性ストッキング 31724000

ベルサナコットンプラス

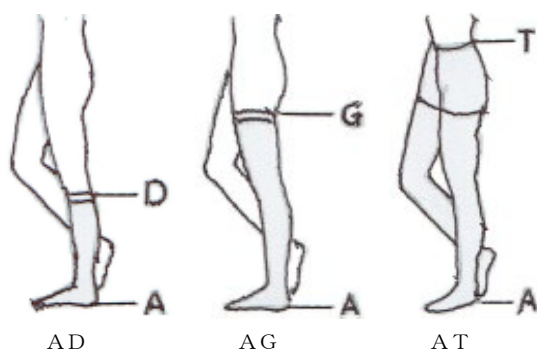
【禁忌・禁止】

次の患者には使用しないでください。

1. 重度の血行障害、うっ血性の心不全および有痛性青股腫の患者。
〔圧迫により症状を悪化させる恐れがある〕
2. 感染性静脈炎の患者。
〔菌血症や敗血症を発生する恐れがある〕
3. 装着部位に極度の変形がある患者。
〔適切な圧迫が得られない恐れがある〕

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造



図の記号

- ・ A : 踵、D : 膝下、 G : 股より指 2 本分下
- ・ T : 腰
- ・ AD、AG、AT : 本品のタイプ

図 1 本品の基本図

2. 組成

ポリアミド (46%) , ポリウレタン (31%)、木綿(23%)

3. 寸法

(1) 法説明の図

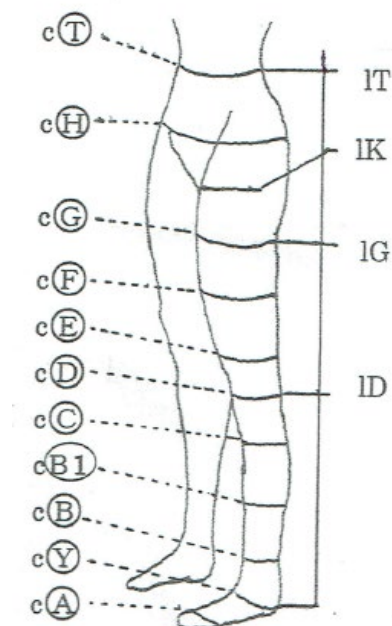


図 2 寸法説明の図

(2) 寸法の説明

表 1 寸法の説明

測定部	記号	説明 (周囲長)	記号	説明 (長さ)
Ⓓ	cT	腰	IT	踵から腰まで
Ⓕ	cH	臀部、胴体の最も広いところ	IK	踵から股まで
Ⓖ	cG	厳密な規定はない。 腿の最上部 (股より指 2 本分下)	IG	踵から cG まで
Ⓕ	cF	厳密な規定はない。 (cE よりおよそ 15cm 上)	—	—
Ⓖ	cE	膝蓋骨と膝を少し曲げたときにできる窪みの辺り	—	—
Ⓓ	cD	膝蓋骨の下 (膝の窪)	ID	踵から cD まで

		みより指 2 本分下)		
㉔	cC	ふくらはぎの最も太 いところ	—	—
㉕	cB1	ふくらはぎの根本 (cB と cC の中間点)	—	—
㉖	cB	足首 (足の下部で最 も細い部分)	—	—
㉗	cY	かかとー足の甲部分 (足をできるだけ上 向きに曲げる)	—	—
㉘	cA	小指の根本の部位	足の長さ：踵から cA ま で	
			足の全長：踵から指の先 端まで	

注：表の測定部及び記号は、図 2 に該当する。

(3) 寸法

①周囲の寸法

cT、cH、cG、cF、cE、cD、cC、cB1、cB、cY および cA
は図 2、表 1 の該当箇所を示す。

表 2 タイプ AD の周囲の長さ (単位：cm)

	I	II	III	IV	V	VI
cD	29-32	30-35	32-38	33-42	35-45	37-48
cC	28-33	31-36	32-39	35-43	37-46	39-49
cB1	24-27	25-29	27-31	29-33	31-36	35-40
cB	19.5- 20	20.1- 22	22.1- 24.5	24.6- 27	27.1- 30	30.1- 33
cY	26-30	27-32	29-34	30-37	32-39	33-41
cA	19.5- 20	20-22	22- 24.5	24.5- 27	27-30	30-33

表 3 タイプ AG の周囲の長さ (単位：cm)

	I	II	III	IV	V	VI
cG	42-55	44-58	48-62	50-67	53-73	56-80
cF	39-47	41-50	45-54	46-57	47-60	49-62
cE	28-36	32-40	34-42	36-46	38-49	40-52
cD	29-32	30-35	32-38	33-42	35-45	37-48
cC	28-33	31-36	32-39	35-43	37-46	39-49
cB1	24-27	25-29	27-31	29-33	31-36	35-40
cB	19.5- 20	20.1- 22	22.1- 24.5	24.6- 27	27.1- 30	30.1- 33
cY	26-30	27-32	29-34	30-37	32-39	33-41

cA	19.5- 20	20-22	22- 24.5	24.5- 27	27-30	30-33
----	-------------	-------	-------------	-------------	-------	-------

表 4 タイプ AT の周囲の長さ (単位：cm)

	I	II	III	IV	V	VI
cT	62-84	67-89	74-98	80- 102	85 - 108	90- 115
cH	71-95	76 - 100	84 - 116	90- 127	98- 137	105- 148
cG	42-55	44-58	48-62	50-67	53-73	56-80
cF	39-47	41-50	45-54	46-57	47-60	49-62
cE	28-36	32-40	34-42	36-46	38-49	40-52
cD	29-32	30-35	32-38	33-42	35-45	37-48
cC	28-33	31-36	32-39	35-43	37-46	39-49
cB1	24-27	25-29	27-31	29-33	31-36	35-40
cB	19.5- 20	20.1- 22	22.1- 24.5	24.6- 27	27.1- 30	30.1- 33
cY	26-30	27-32	29-34	30-37	32-39	33-41
cA	19.5- 20	20-22	22- 24.5	24.5- 27	27-30	30-33

②脚および足の長さ

表 5 脚の長さ (単位：cm)

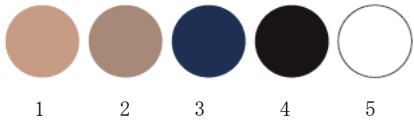
タイプ	長さ		
	IK (A-T)	IG (A-G)	ID (A-D)
短	69-78	65-74	34-38
長	78.1-88	74.1-84	38.1-43

注：脚の長さは図 2、表 1 の該当箇所を示す

表 6 足の長さ (単位：cm)

タイプ	長さ	備考 (測定部位)
つま先無	15-17.5	踵から足指の根本まで
つま先有	短足： 22.5-25.9	踵から足指先まで
	長足： 26-29.5	

4. 本品の色の種類



1：モード ブライト (Mode Bright)、2：モード (Mode)、
3：暗青 (Dark Blue)、4：④黒 (Black)、5：白 (White)

5. 原理

本品は「2. 組成」の欄に記載された原材料を使用した弾性ストッキングで、伸縮性により下肢の末梢より中枢に向かい漸減的に圧迫を加える。

【使用目的又は効果】

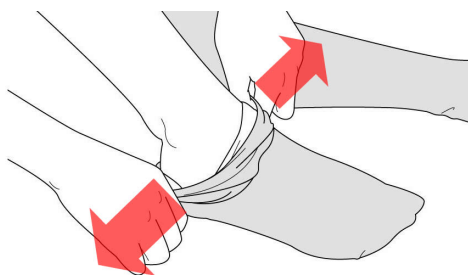
下肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキングである。末梢から中枢に向かい漸減的に圧迫を加える機能を有する。

【使用方法】

弾性ストッキングの履き方

1. 装着前の準備（装着前のポイント）

- (1) 足カバーを利用すると履きやすくなる。
- (2) 履く前に弾性ストッキング上部から手を入れ、かかとを内部からつまんで、かかとから上部にみを裏返しておくとしゅースに着用できる。



2. 装着の方法

- (1) 足カバーの上に足をのせ、先端部を親指にかける。
- (2) 裏返した弾性ストッキングをつま先からかかとまで履き、位置を合わせる。
- (3) 足首まで履いたら、親指を入れた足カバーを後ろから引き抜く。かかとの位置がずれないようにすること。
- (4) 両手の親指を内側に入れ、半円を描くように回しながら上げていく。かかとの位置がずれないようにする。
- (5) 腿までのもの：腿まで、力をかけすぎないように注意してゆっくり引き上げる。
腰までのもの：腰の位置まで、力をかけすぎないように

注意してゆっくり引き上げる。中心を確認する。

- (6) かかととひざの位置がストッキングの位置とあっていることを確認し、皺が来ないように均一に全体をなじませて着用する。

【使用上の注意】

1. 適用対象患者（次の患者には慎重に使用すること）

- (1) 高血圧症又は心臓・腎臓に障害がある患者
- (2) 血行障害を起こしたことのある患者
- (3) 病気、怪我などにより脚にむくみ、だるさを感じている患者
- (4) 術後等患者の意識レベルが低い場合および患者との意思疎通が困難な場合には患者の状況をよく観察して使用すること。
- (5) ギブス、外傷等による長時間の下肢可動不能状態の患者は、潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため注意して使用すること。
- (6) 装着部に傷、痛み、しびれ、湿疹、かぶれ等の異常がある場合や本品が開放創に直接接触する場合には使用しないこと。（症状が悪化する恐れがあるため）
- (7) 本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、湿疹、かぶれ等の異常がある場合、本品が開放創に直接接触する場合は使用しないこと。

2. 使用方法における注意事項

- (1) 足首、ふくらはぎ、大腿などの各周囲を計測して正しいサイズを選択する。（サイズが合わないとう血行を悪くする恐れがある）
- (2) 履き口部分を折り重ねないこと。（圧力が倍増し、うっ血の原因となる恐れがある）
- (3) 着用時には爪や指輪をひっかかないように注意すること。手袋の着用が好ましい。
- (4) たるみ、しわの無いうに装着すること。（圧力の過不足防止のため）

【保管方法及び有効期間】

1. 保管方法

直射日光及び高温多湿を避けて室温で保管すること

2. 使用の期限

使用期間6か月

【保守・点検に係る事項】

本品を洗濯する場合

1. 他の衣類とは別にして、40℃以下の水で手洗いすること。

2. 洗濯機を使用するときは、本品を必ずネットに入れること。
3. 柔軟剤、蛍光増白剤、染み抜きなどは使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

1. 製造販売業者
株式会社ディーピーシー
2. 製造業者
O f a B a m b e r g G m b H、ドイツ